

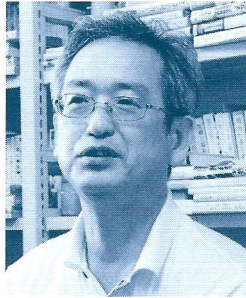
記念講演

優生思想の克服、 排除しない社会を創るために

岐阜大学教授

竹内 章郎さん

「哲学する〈父〉たちの語らい ダウン症・自閉症の〈娘〉との暮らし」「平等の哲学 新しい福祉思想の扉をひらく」「新自由主義の嘘 哲学塾」「いのちの平等論 現代の優生思想に抗して」 など



シンポジウム

コーディネーター：細田一憲（京都中途障害者の会会長
精神障害ピアカウンセラー）

- 発言者： ① 障害当事者 ④ 研究者
 ② 障害者家族 ⑤ ソーシャルワーカー
 ③ 弁護士 ⑥ 学生・院生

参加自由・無料・手話通訳あり

2017年 1月26日(木)
13:30～17:00 (13:00開場)

立命館大学

国際平和ミュージアム



主催

相模原殺傷事件から半年
—なにが問題か？あなたはどうする？
実行委員会

代表：細田一憲
連絡先：京都中途障害者の会
〒603-8324
京都市北区北野白梅町85
TEL/FAX: 075-465-5451
E-mail: info@fukushi-hiroba.com

協賛：朝日新聞社京都総局／京都精神保健福祉士協会／京都府保険医協会

相模原殺傷事件から半年

なにが問題か？ あなたははどうする？

「障害者は不幸を引き起こす」「生きる値打ちが無い」などと決め付け、社会からの抹殺、排除を狙い、犯行に及んだ容疑者。この事件の背後には「障害自己責任論」を押しつけ、「自己負担」を求める考え方があると云わざるを得ません。「いのち」を「役に立つ」「役立たない」で選んでほしくないのではないのでしょうか。事件の底流にあるもの、本質、引きだすべき事柄、私たちの向き合い方などを考える場として講演会・シンポジウムを開催します。